

労働力調査の結果について

1. 基本集計、年平均
2. 基本集計、月次
3. 詳細集計、四半期平均

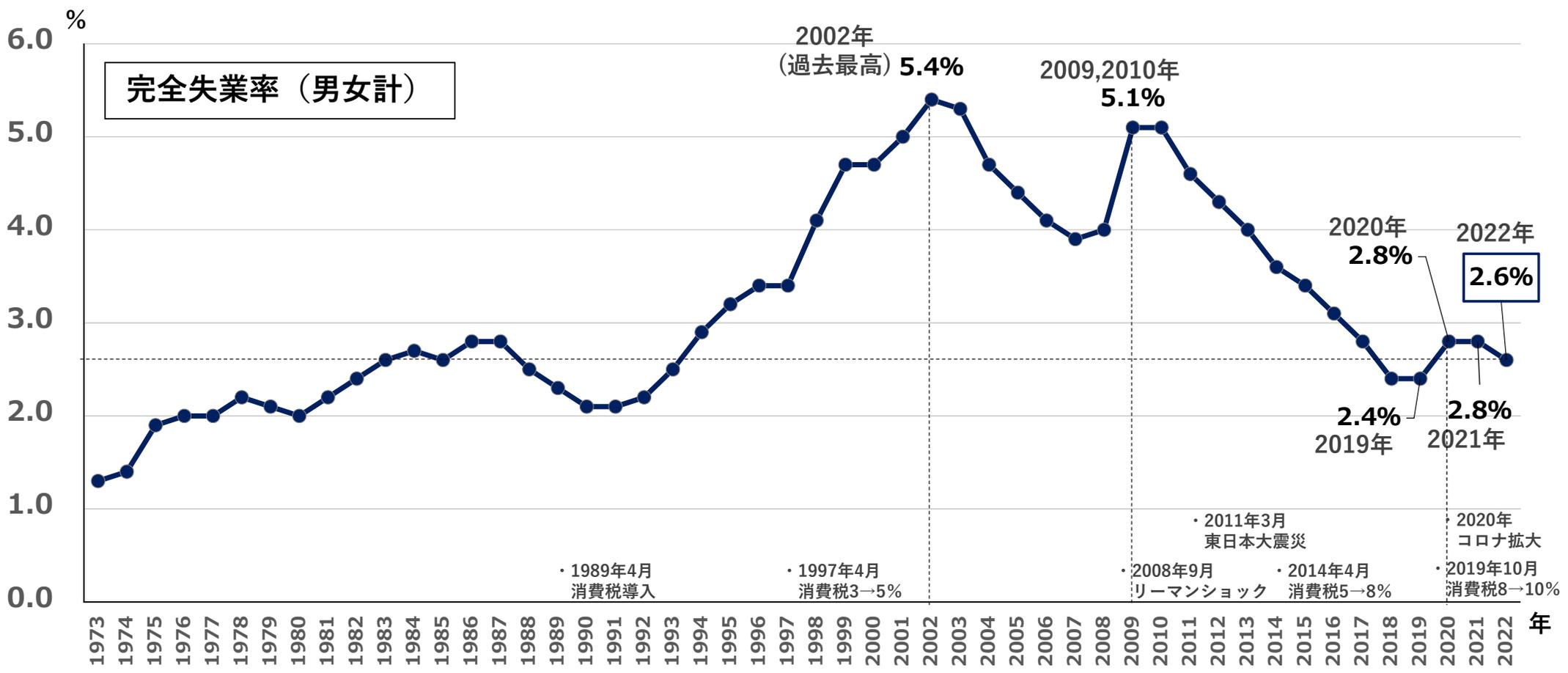
2023年6月9日
統計局労働力人口統計室

※本資料は、雇用失業統計研究会において、構成員の皆様自由に御議論いただく目的で作成したものである。

1. 基本集計、年平均

完全失業率

○ 完全失業率は2002年(5.4%)が過去最高、リーマンショック時とコロナ拡大時に上昇
 2022年は2.6%と、2021年(1年前)に比べ0.2ポイント低下、2019年(コロナ前)に比べ0.2ポイント高い水準

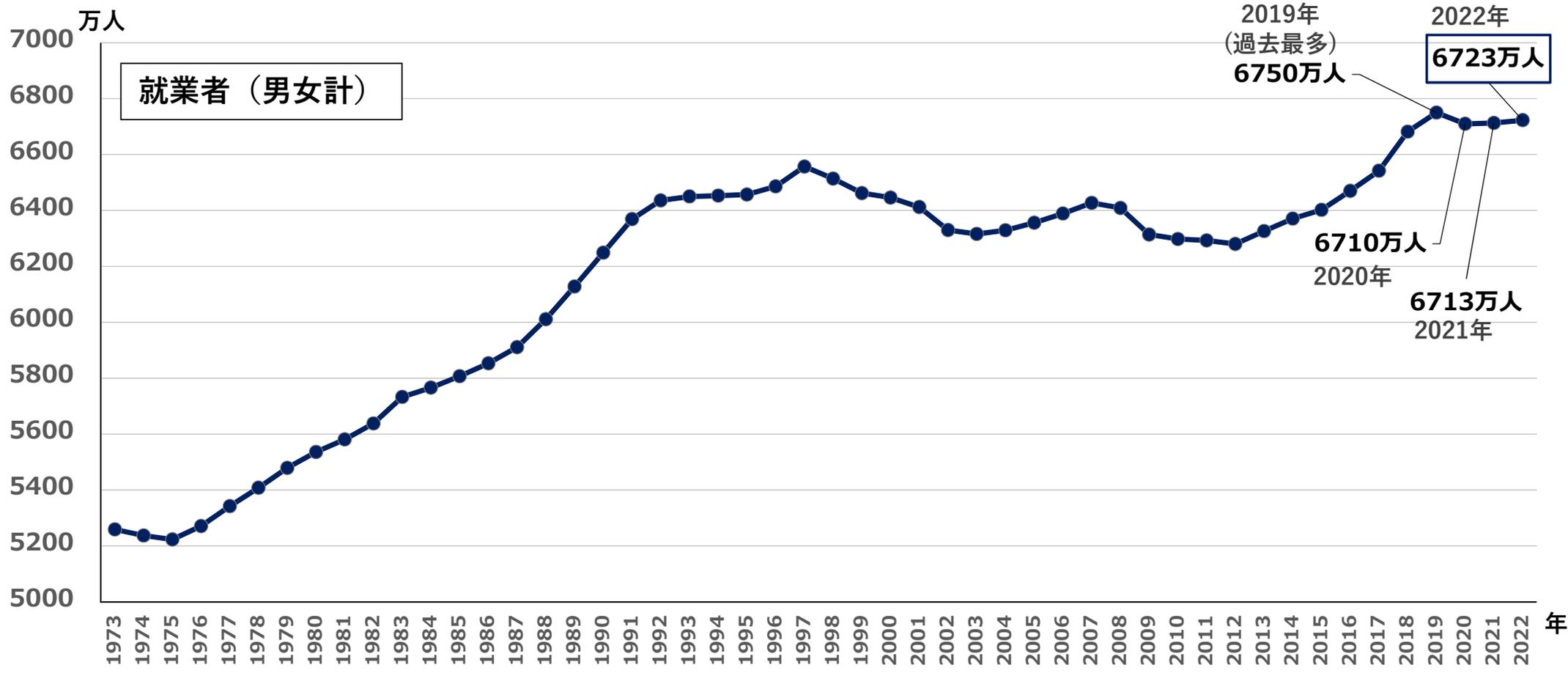


※2011年の数値は、東日本大震災に伴う補完推計値

1. 基本集計、年平均

就業者

○ 就業者数は2019年(6750万人)が過去最多
2022年は6723万人と、2021年(1年前)に比べ10万人増加、2019年(コロナ前)に比べ27万人低い水準

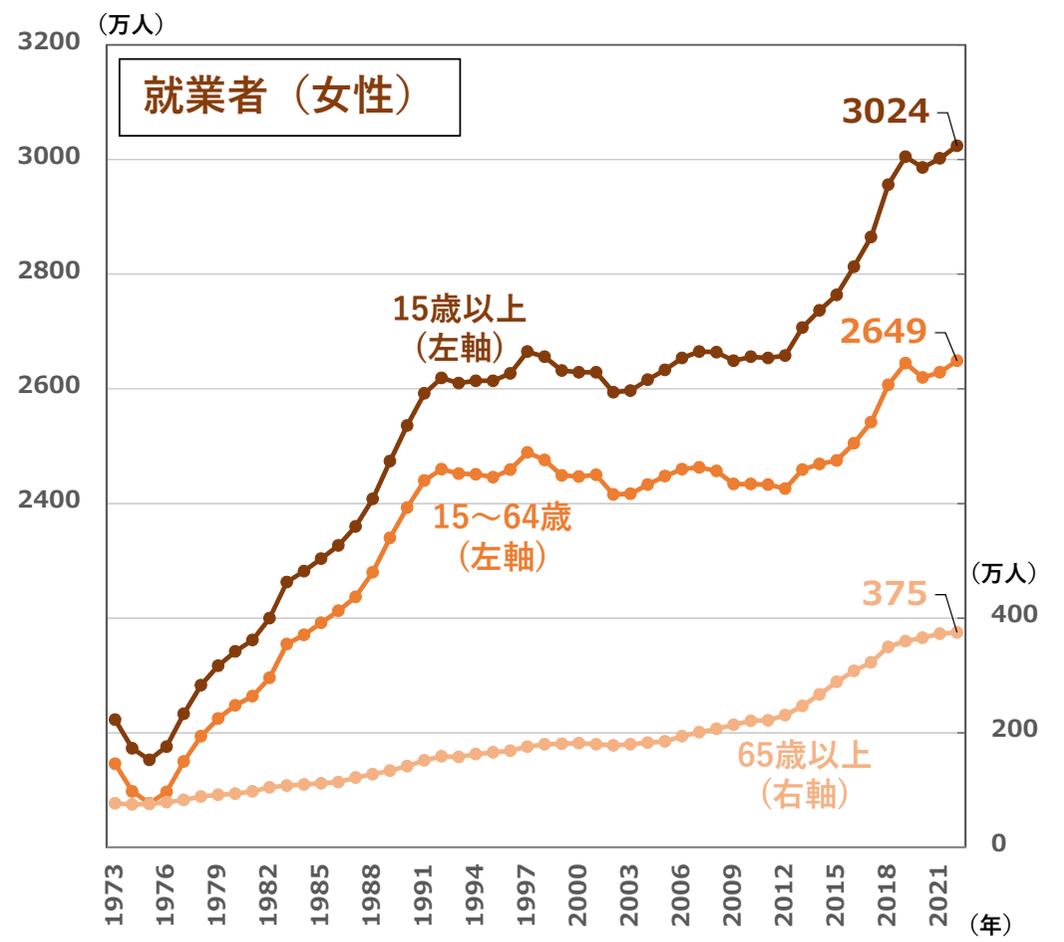
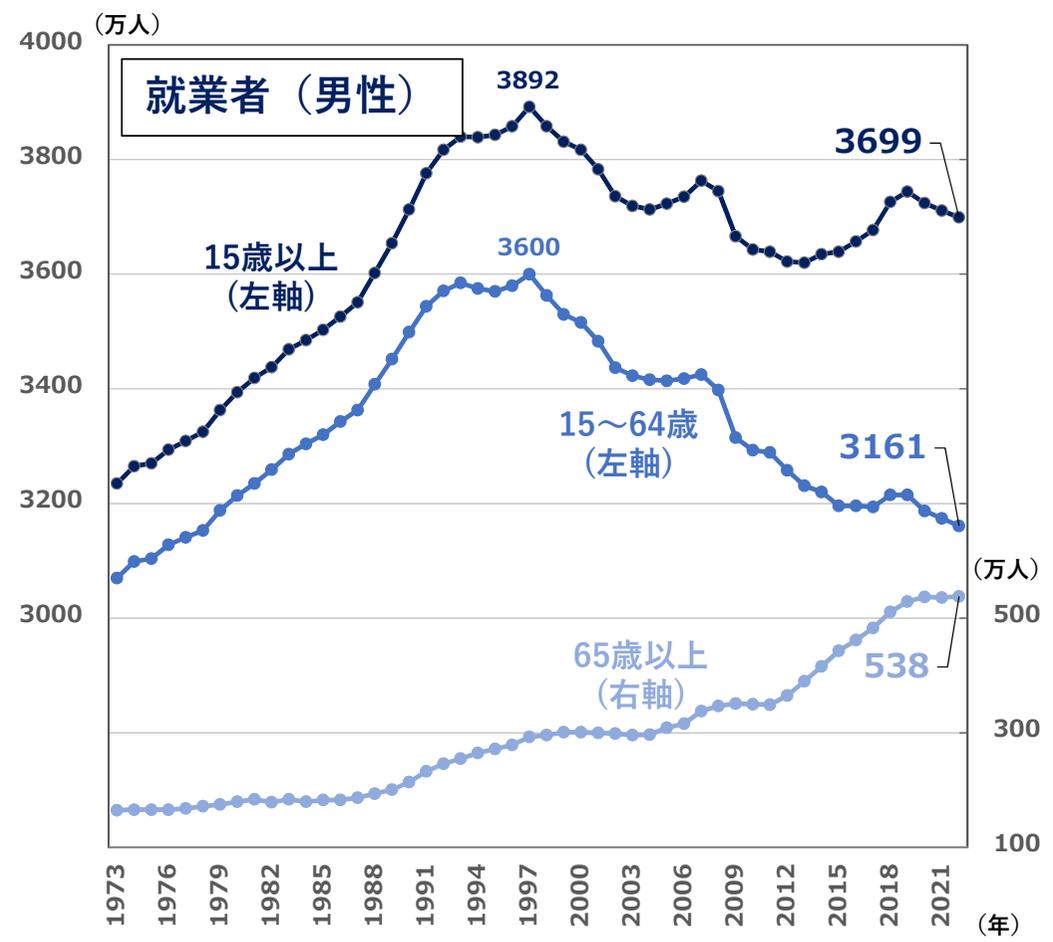


※2011年の数値は、東日本大震災に伴う補完推計値

1. 基本集計、年平均

就業者（男女別）

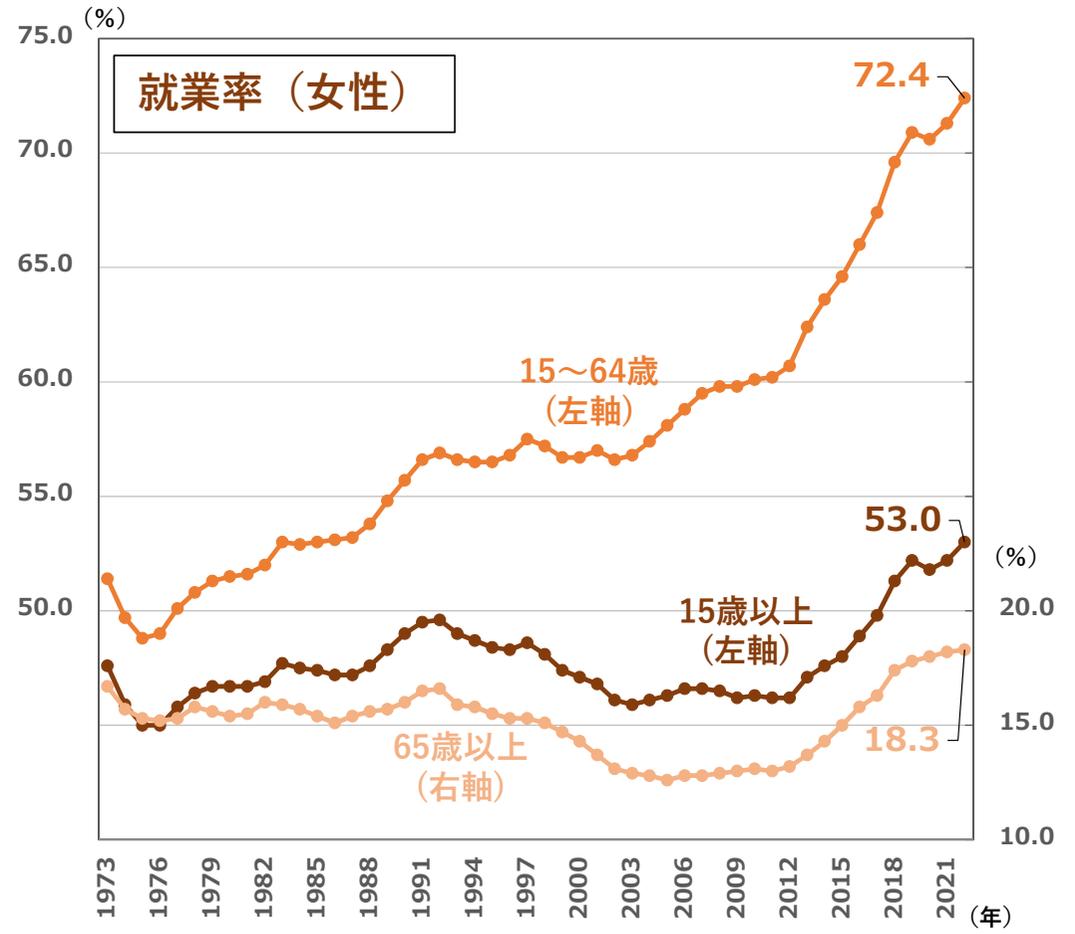
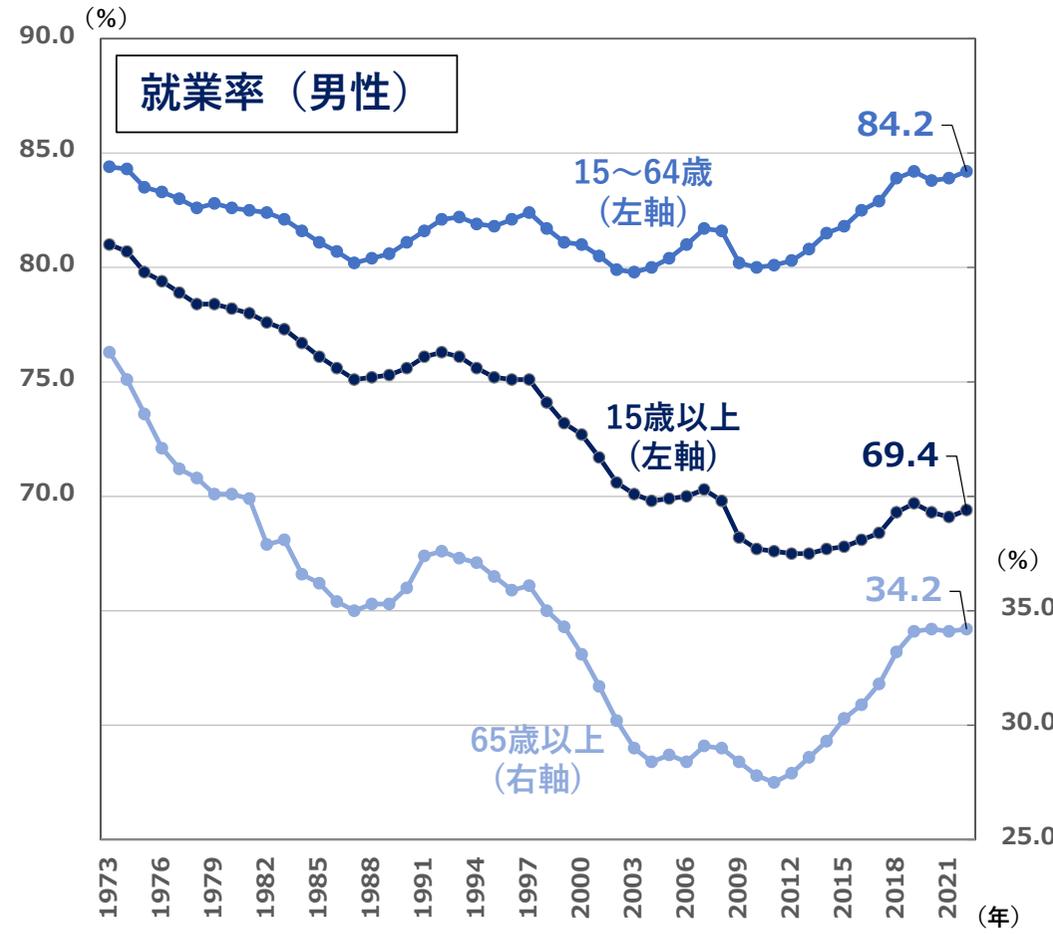
○ 就業者は男女ともに65歳以上で増加傾向。2020年頃からは増加幅は縮小傾向
 女性の15～64歳で2013年以降増加傾向



1. 基本集計、年平均

就業率（男女別）

○ 就業率は男女ともに65歳以上で2012年以降上昇傾向。2020年頃からは上昇幅は縮小傾向
 女性の15～64歳で2003年以降上昇傾向

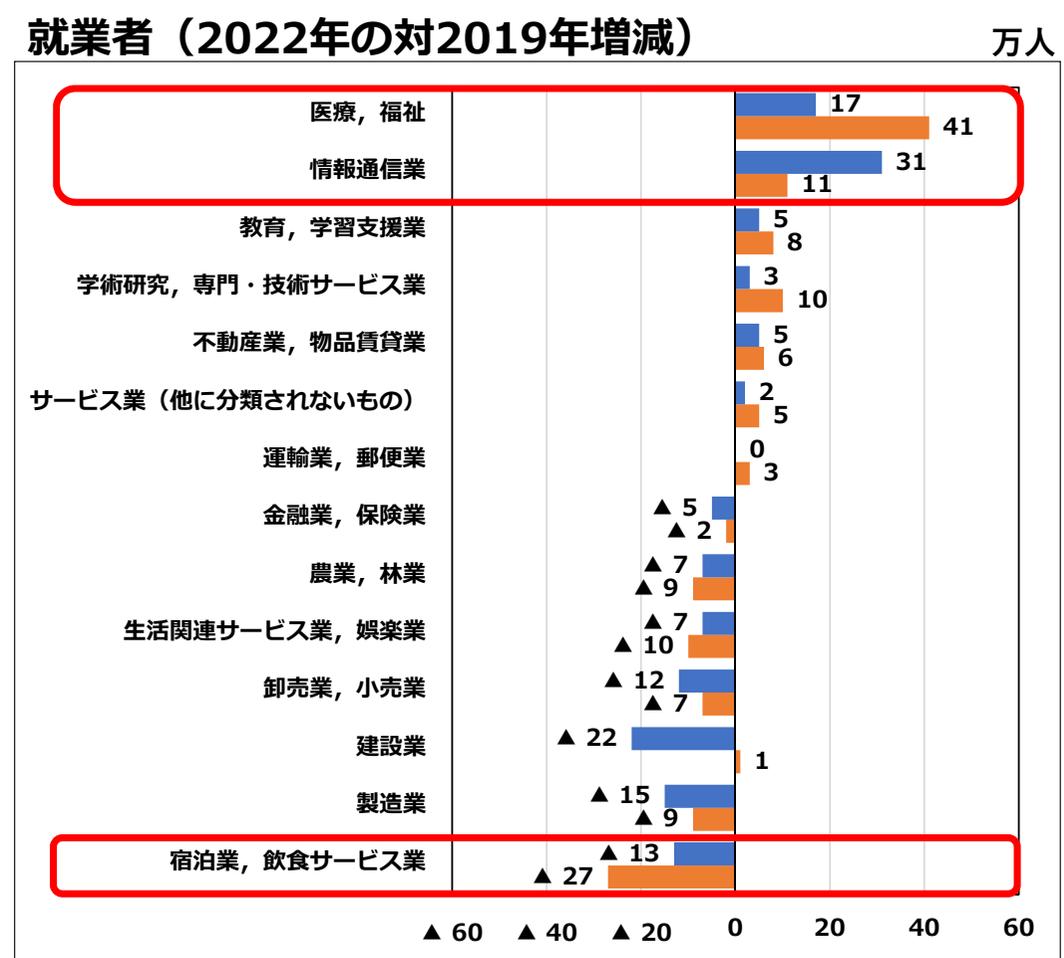
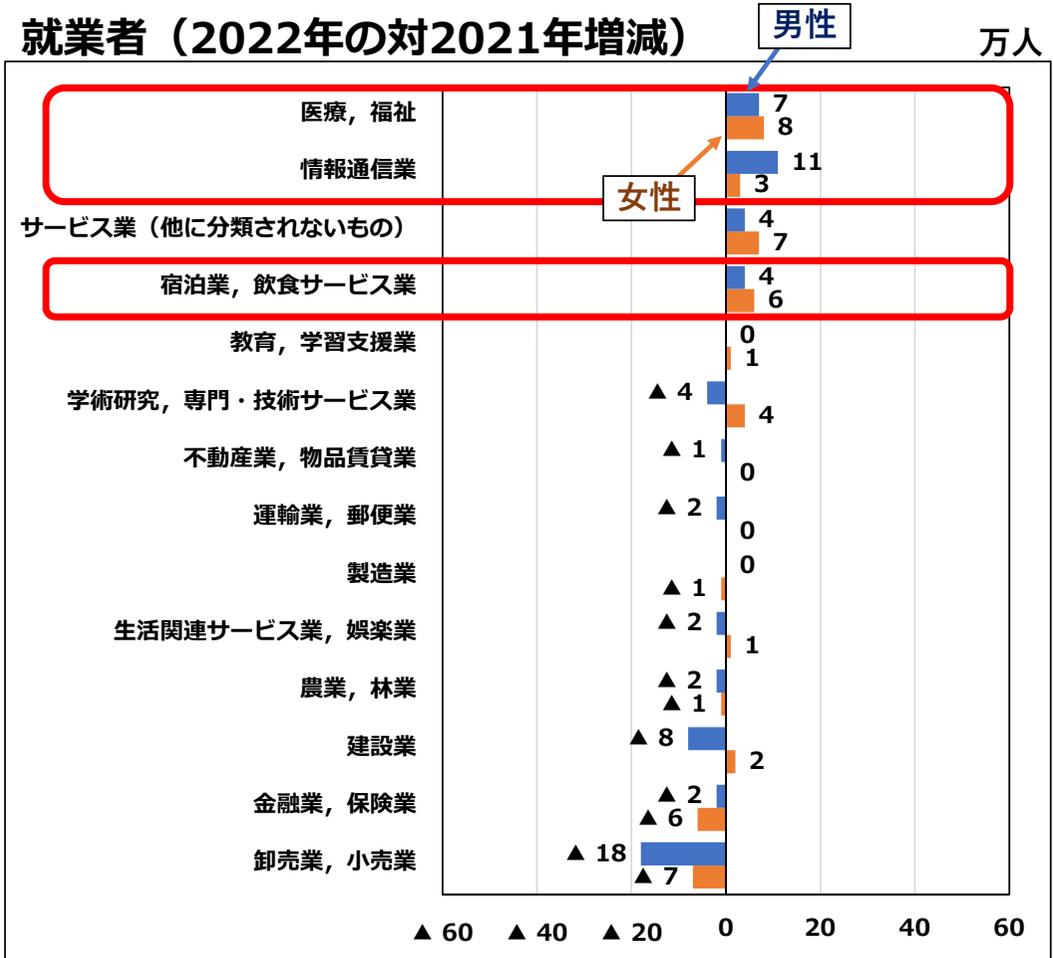


※2011年の数値は、東日本大震災に伴う補完推計値

1. 基本集計、年平均

就業者（主な産業別）

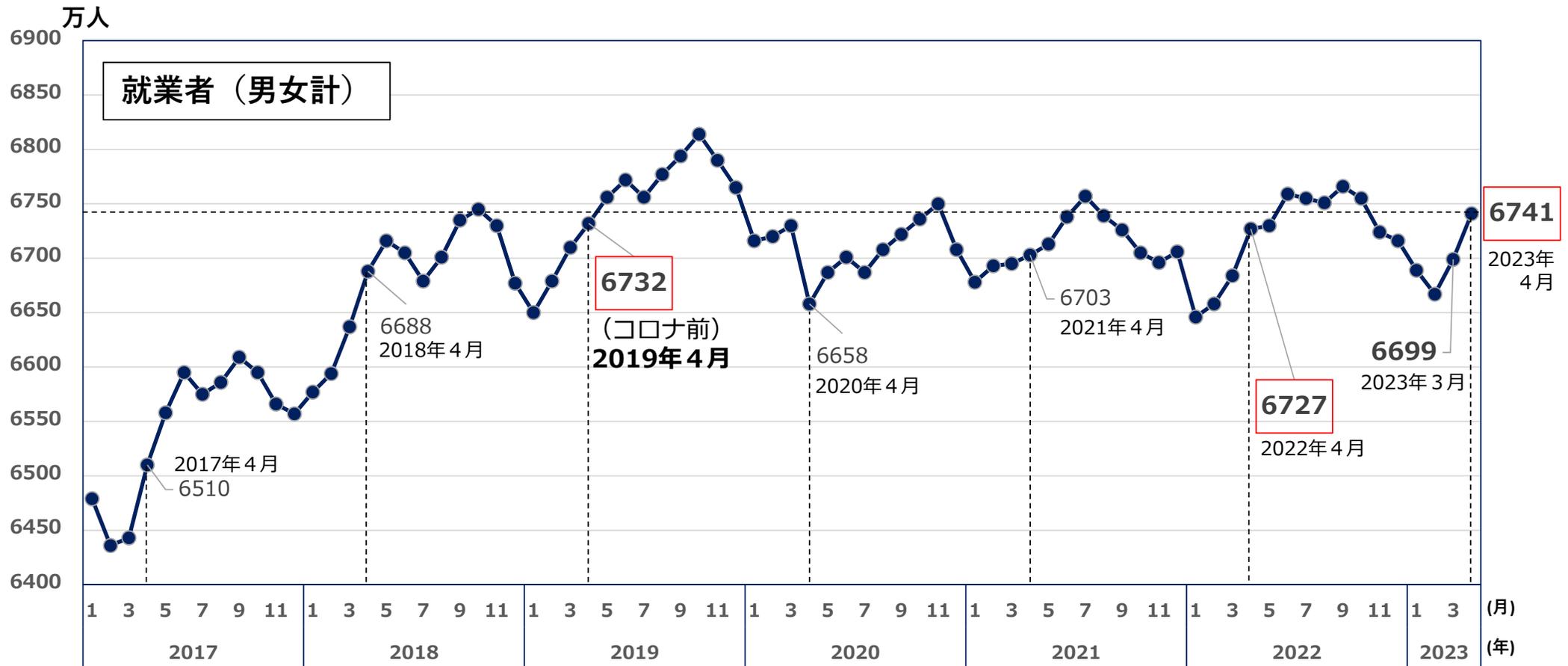
○ 2022年における「医療、福祉」、「情報通信業」の就業者は、2021年に比べ増加、2019年に比べても高い水準
 「宿泊業、飲食サービス業」の就業者は、2021年に比べ10万人増加、一方、2019年に比べると40万人低い水準



2. 基本集計、月次

就業者

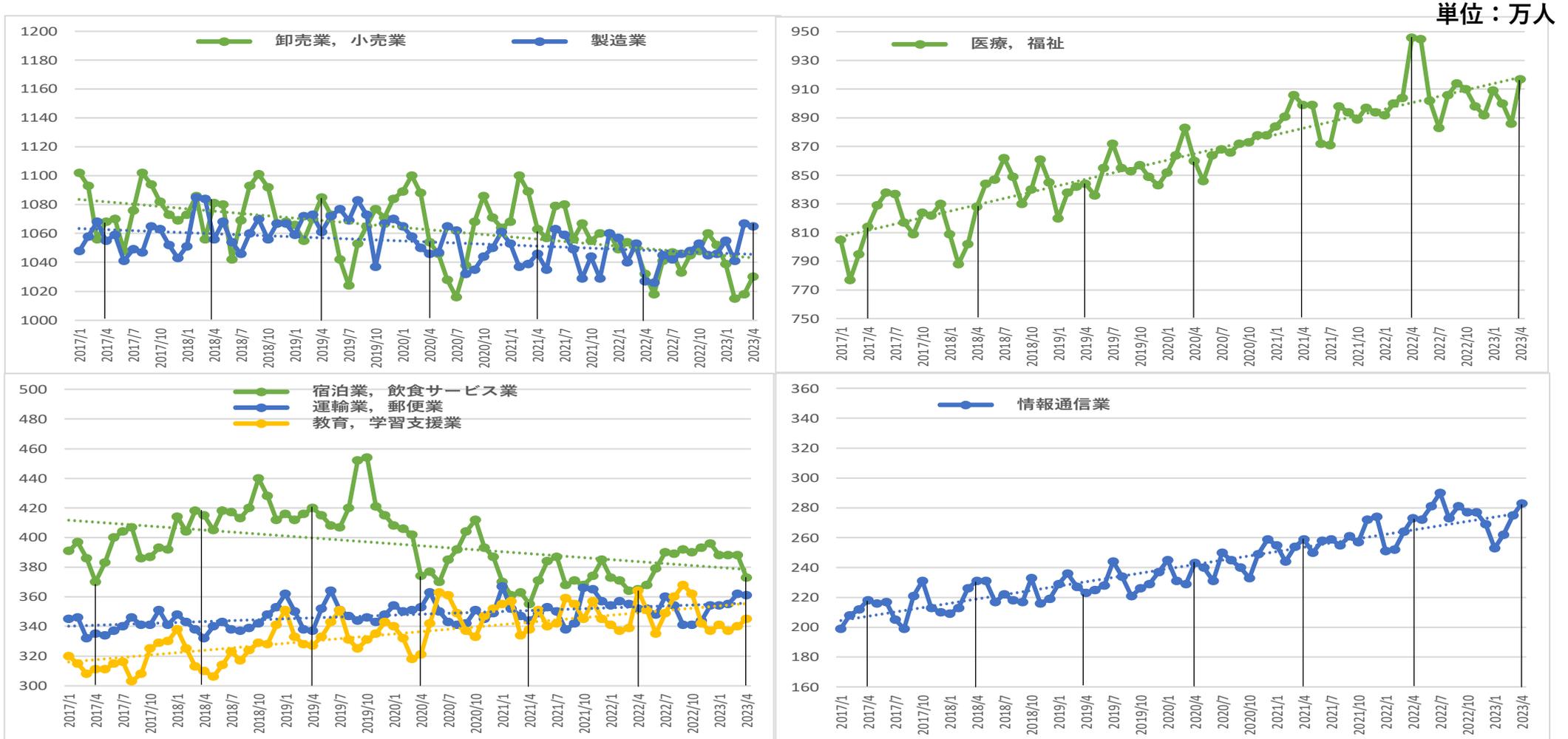
○ 2023年4月の就業者数は6741万人と、1年前に比べ14万人増加、
2019年4月(コロナ前)に比べても9万人高い水準



2. 基本集計、月次

就業者（主な産業別①）

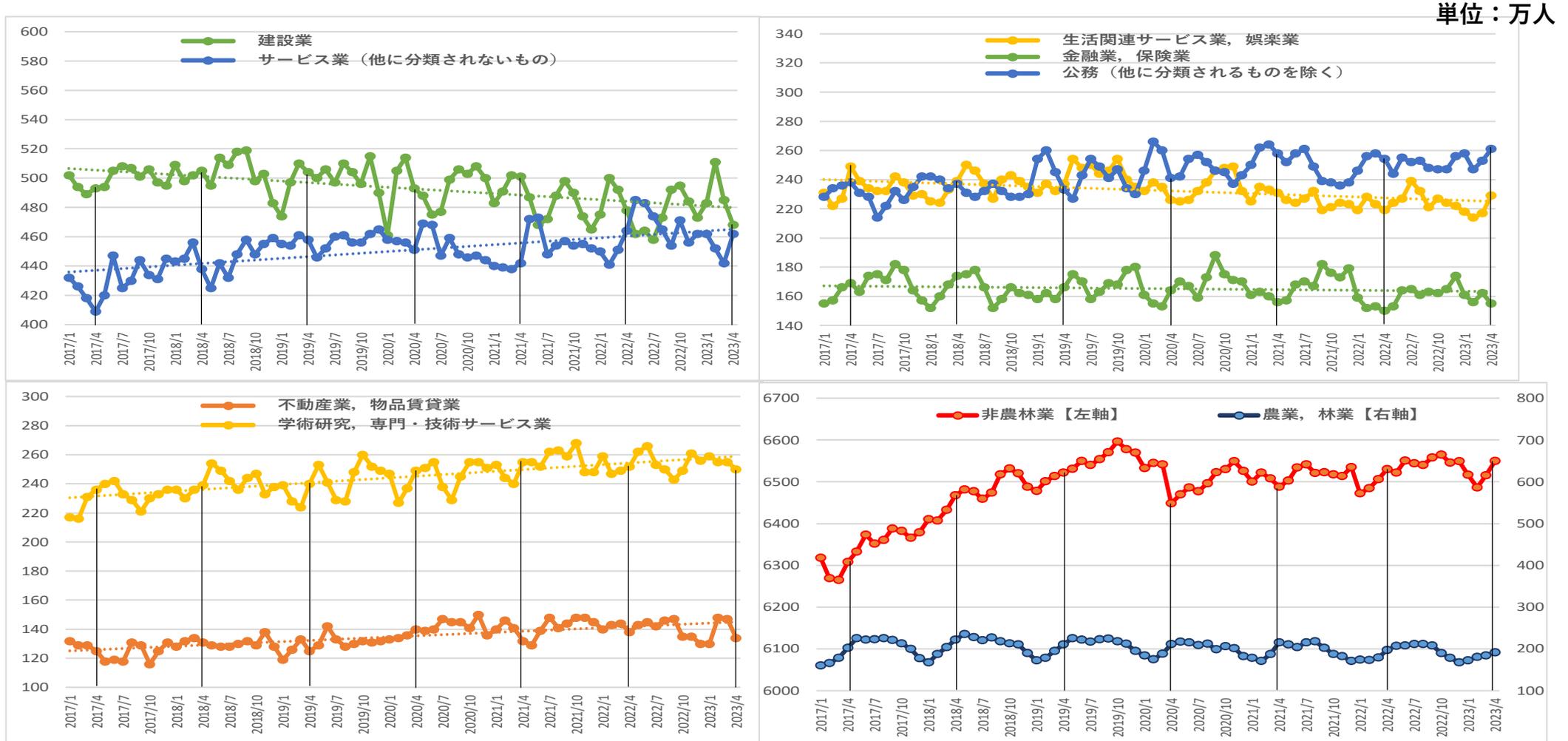
○「卸売業、小売業」、「製造業」は減少傾向。「医療、福祉」、「情報通信業」は増加傾向



2. 基本集計、月次

就業者（主な産業別②）

○「建設業」は減少傾向。「サービス業（他に分類されないもの）」は増加傾向

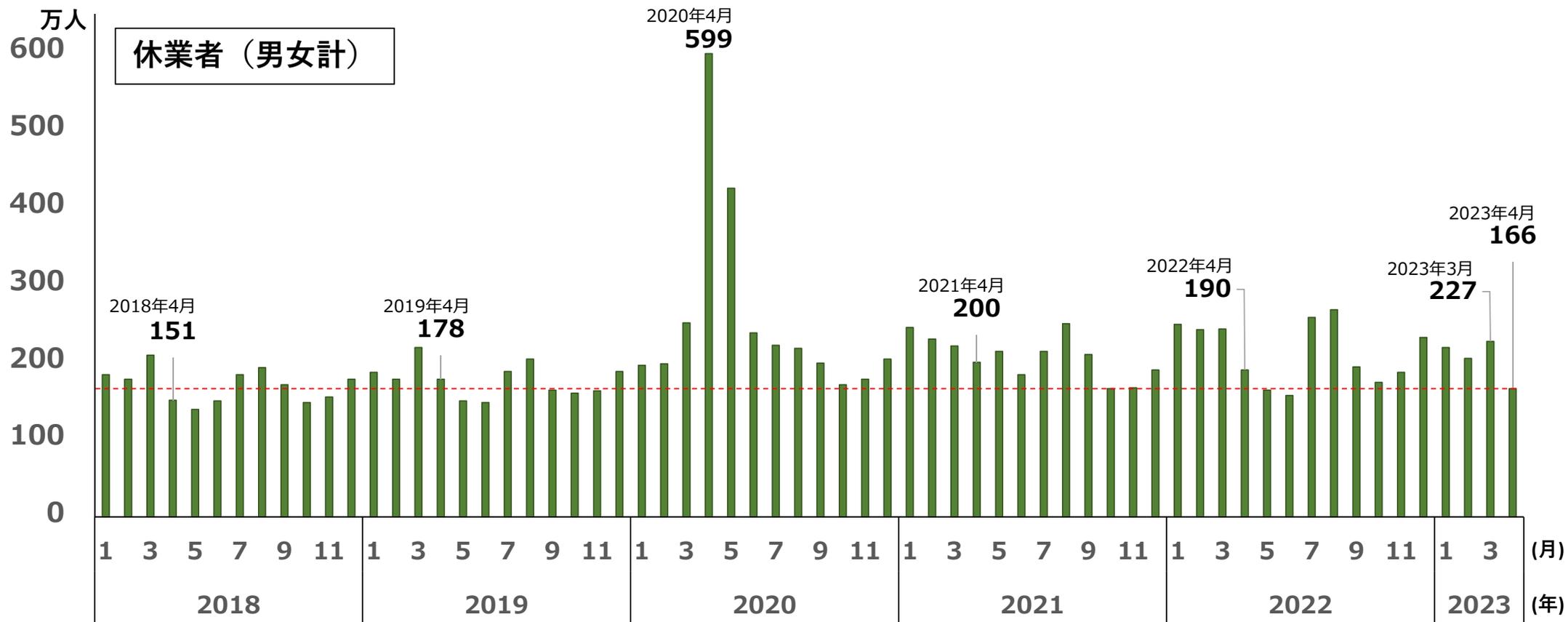


2. 基本集計、月次

休業者

○ 休業者数は、コロナの影響下で2020年4月(599万人)が過去最多

2023年4月の休業者数は166万人と、1年前に比べ24万人減少、前月に比べ61万人減少



※ 休業者は、仕事を持ちながら、調査週間中に少しも仕事をしなかった者のうち以下の者

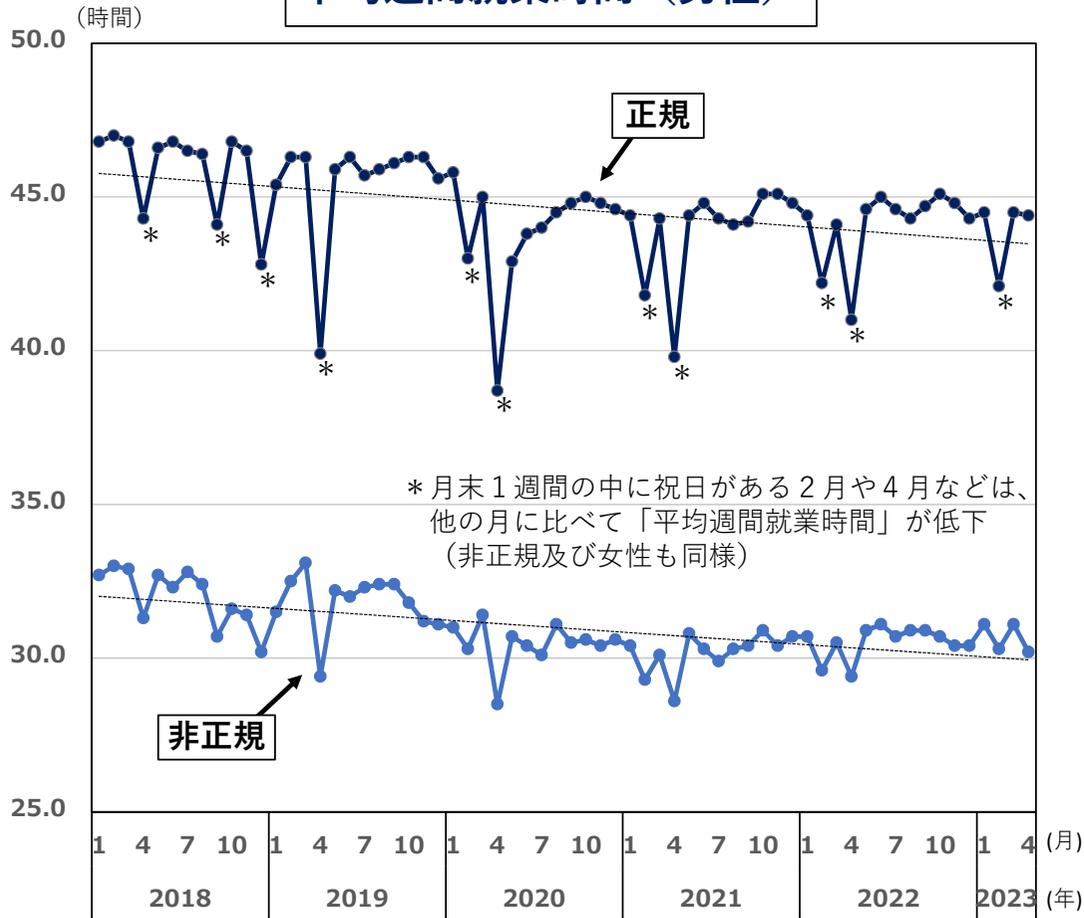
- ① 雇用者で、給料・賃金（休業手当を含む。）の支払を受けている者又は受けることになっている者
- ② 自営業主で、自分の経営する事業を持ったままで、その仕事を休み始めてから30日にならない者

2. 基本集計、月次

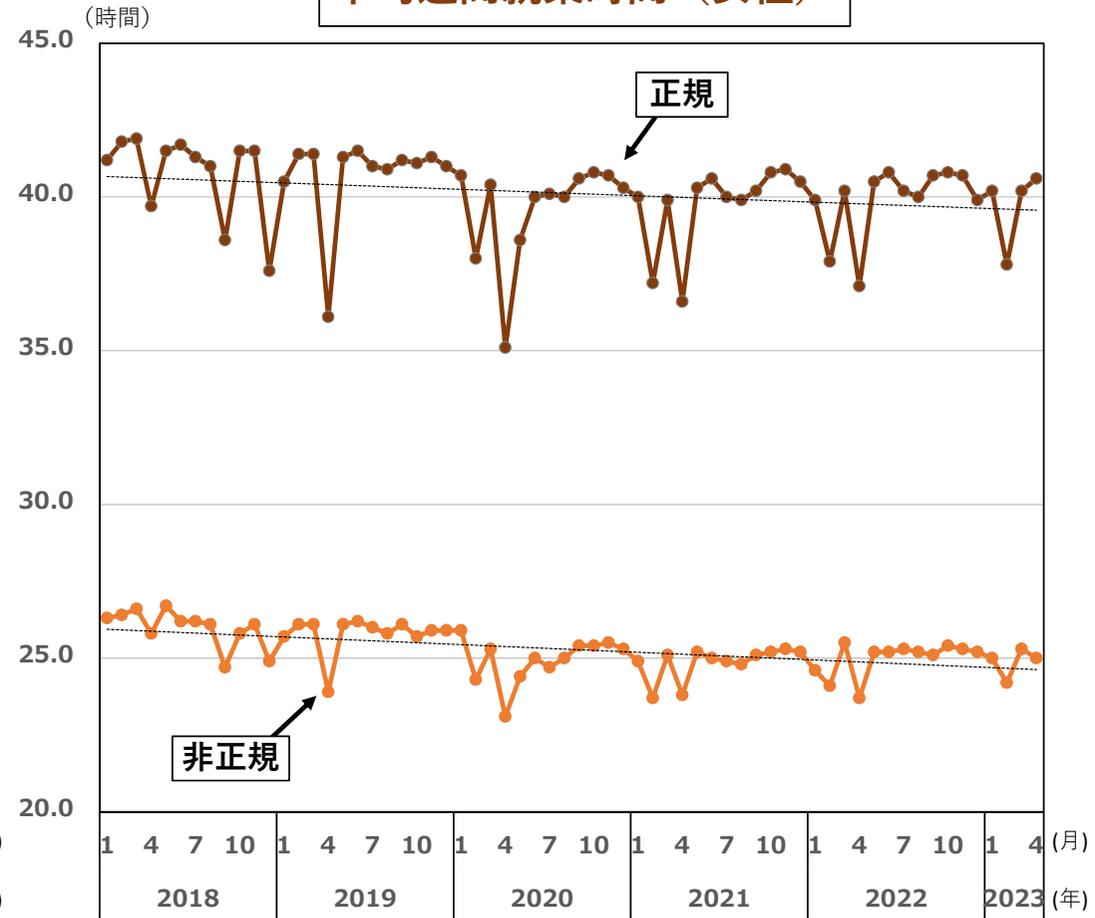
平均週間就業時間（男女別）

○ 平均週間就業時間は、男女ともに減少傾向

平均週間就業時間（男性）



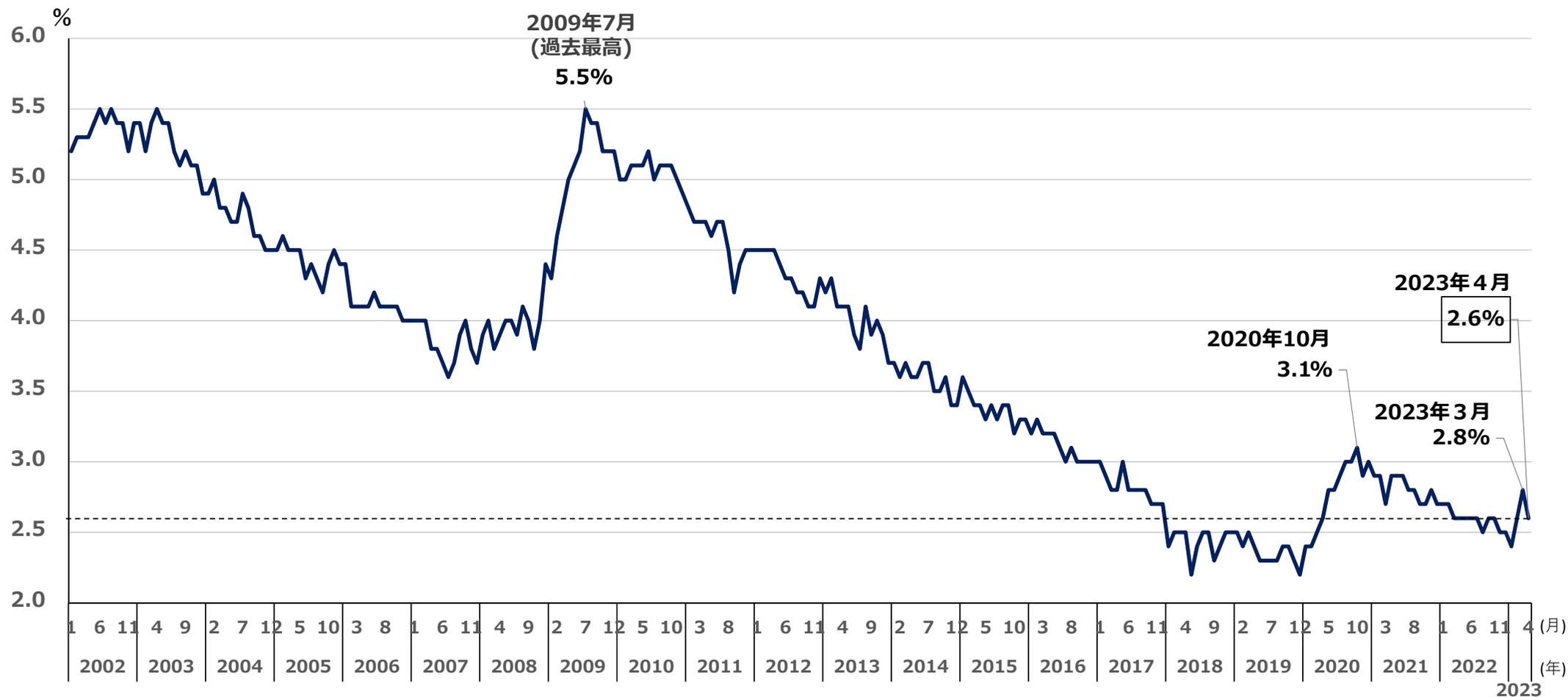
平均週間就業時間（女性）



2. 基本集計、月次

完全失業率（季節調整値）

○ 完全失業率(季節調整値)は、コロナの影響下で2020年4月から10月まで上昇傾向。その後、低下傾向で推移
2023年4月の完全失業率は2.6%と、前月に比べ0.2ポイント低下

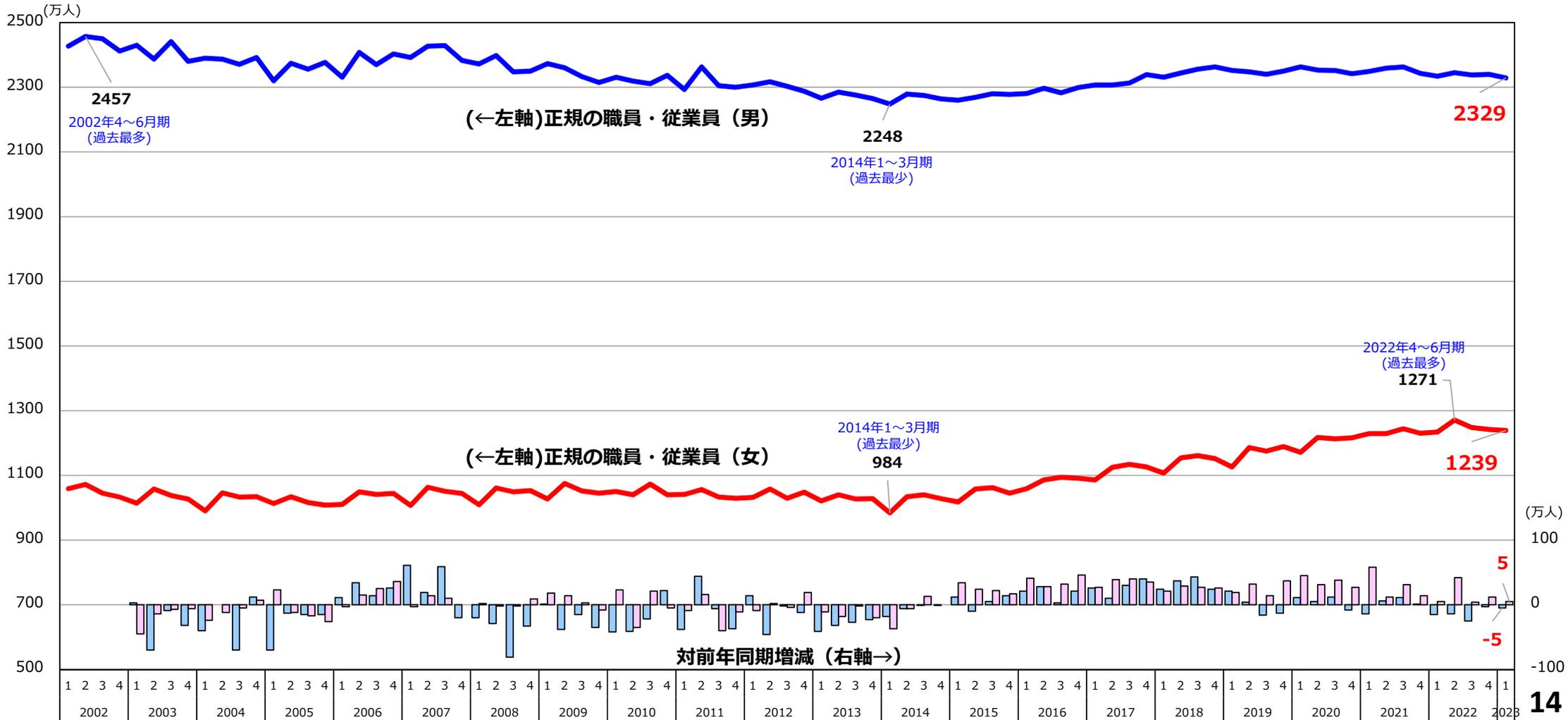


※ 2011年3月から8月までの数値は、東日本大震災に伴う補完推計値

3. 詳細集計、四半期平均

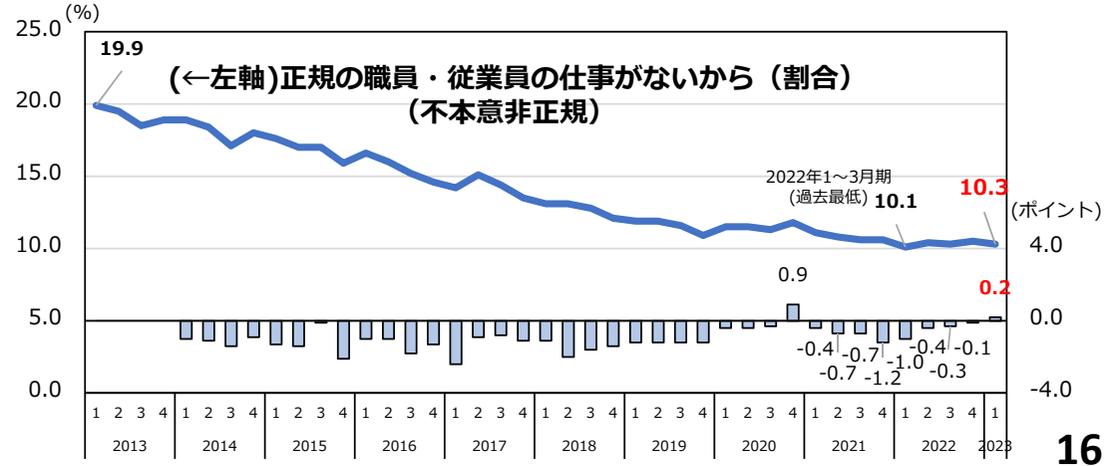
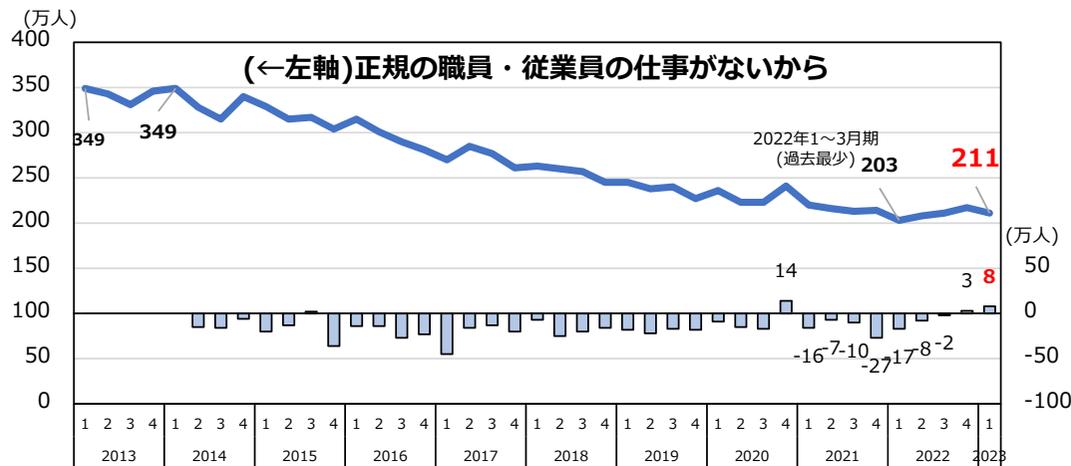
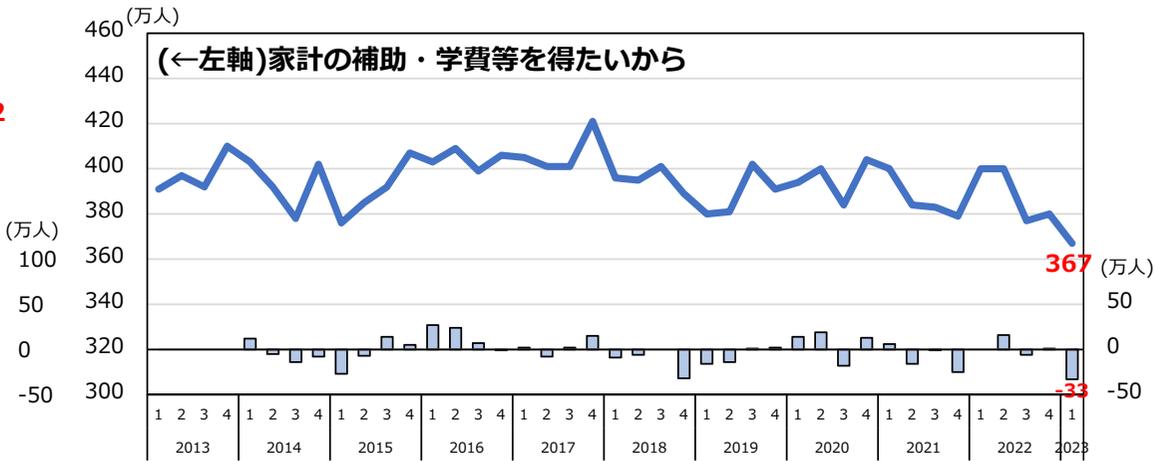
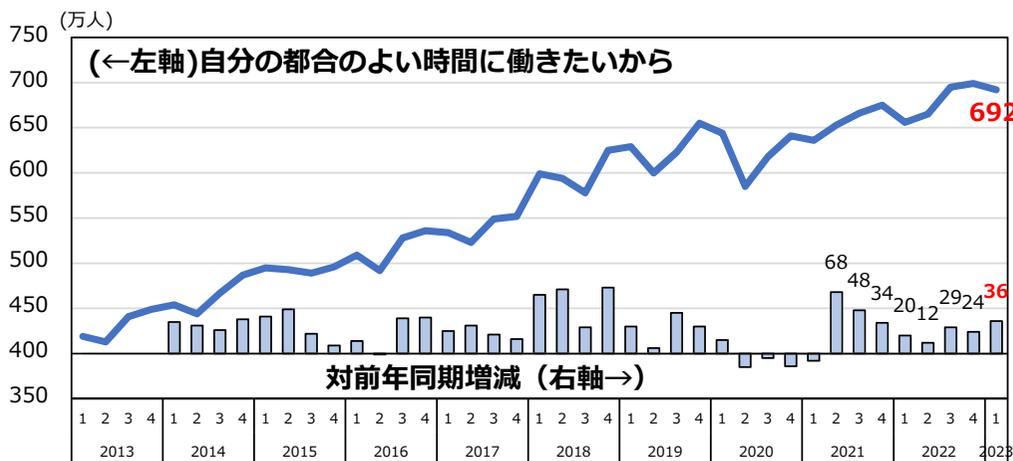
正規の職員・従業員（男女別）

○ 2023年1～3月期の正規の職員・従業員を男女別にみると、男性は2329万人と1年前に比べ5万人減少（5期連続）
 女性は1239万人と5万人増加（2015年1～3月期から33期連続）



3. 詳細集計、四半期平均 非正規の職員・従業員について主な理由

- 非正規2112万人(+39万人)についての主な理由別にみると、「自分の都合のよい時間に働きたいから」は692万人(+36万人)、「家計の補助・学費等を得たいから」は367万人(▲33万人)、「正規の職員・従業員の仕事がないから」(不本意非正規)は211万人(+8万人)
 ※非正規の職員・従業員のうち不本意非正規の割合は、10.3%と0.2ポイントの上昇(9期ぶり)

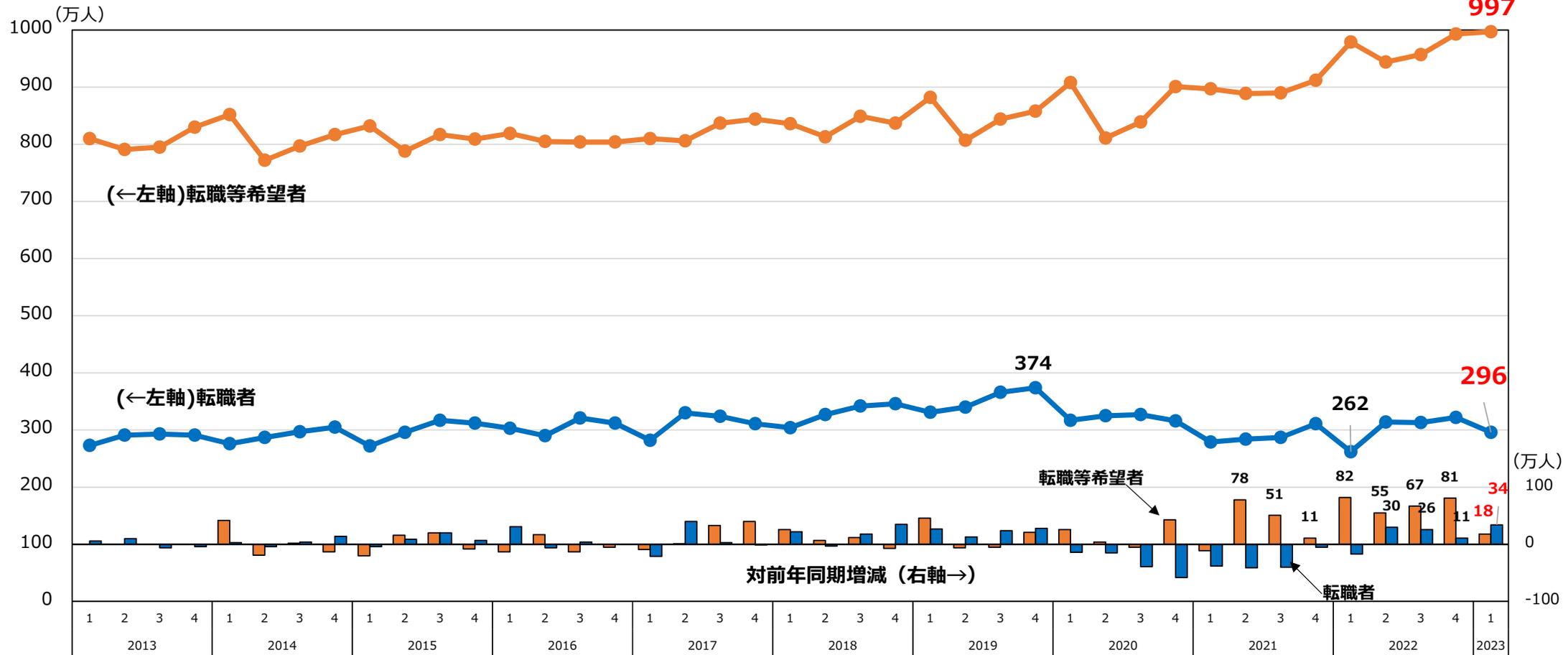


3. 詳細集計、四半期平均

転職者、転職等希望者

○ 就業者のうち転職者は296万人と1年前に比べ34万人増加(4期連続)

○ 転職等希望者は997万人と18万人増加(8期連続)



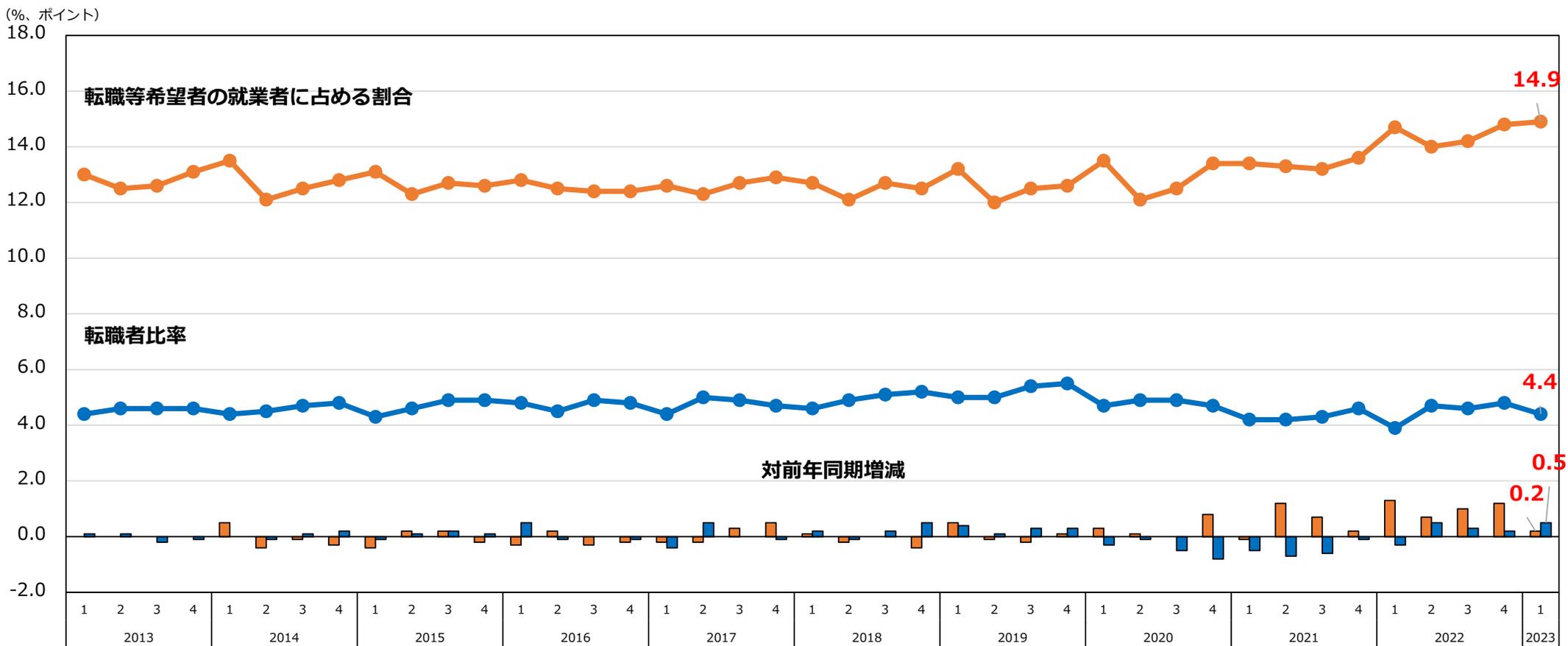
※転職者とは、就業者のうち、前職のある者で、過去1年間に離職を経験した者

※転職等希望者とは、就業者のうち、現在の仕事を辞めて他の仕事に変わりたいと希望をしている者及び現在の仕事の他に別の仕事もしたいと希望している者

3. 詳細集計、四半期平均 転職者比率、転職等希望者の就業者に占める割合

○ 就業者に占める転職者の割合(転職者比率)は4.4%で、1年前に比べ0.5ポイント上昇(4期連続)

○ 就業者に占める転職等希望者の割合は14.9%で、0.2ポイント上昇(8期連続)



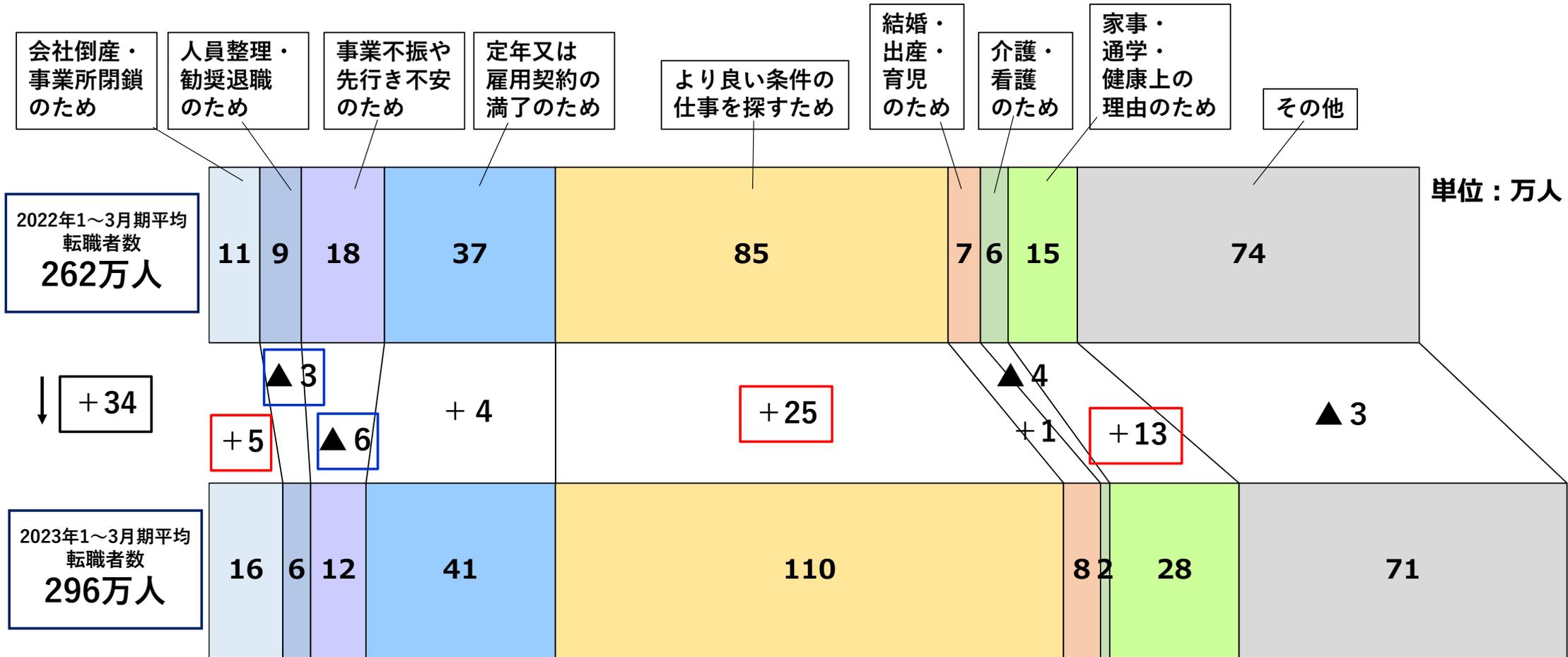
※転職者比率 (%) = 転職者数 ÷ 就業者数 × 100

※転職等希望者の就業者に占める割合 (%) = 転職等希望者 ÷ 就業者数 × 100

3. 詳細集計、四半期平均

転職者（前職の離職理由別）

- 転職者を前職の離職理由別にみると、「より良い条件の仕事を探すため」(+25万人)、「家事・通学・健康上の理由のため」(+13万人)、「会社倒産・事業所閉鎖のため」(+5万人)などで増加
- 一方、「事業不振や先行き不安のため」(▲6万人)、「人員整理・勧奨退職のため」(▲3万人)などは減少

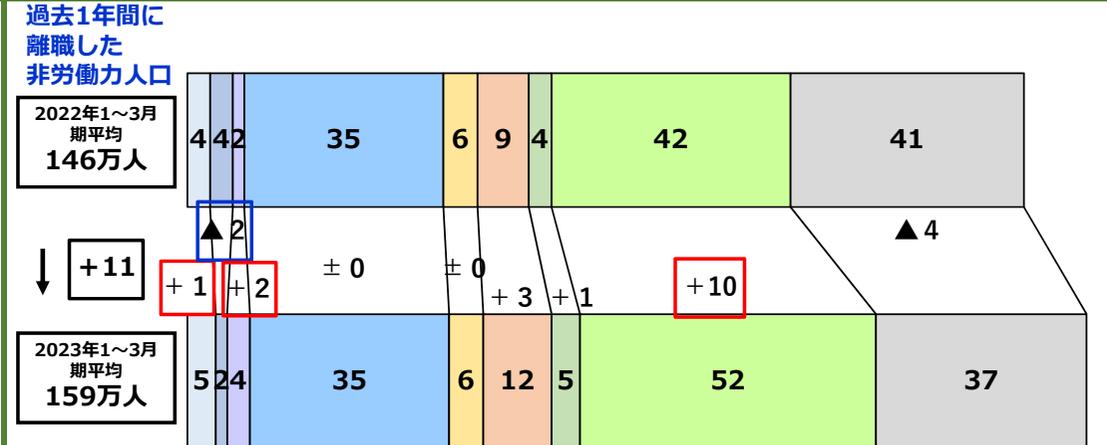
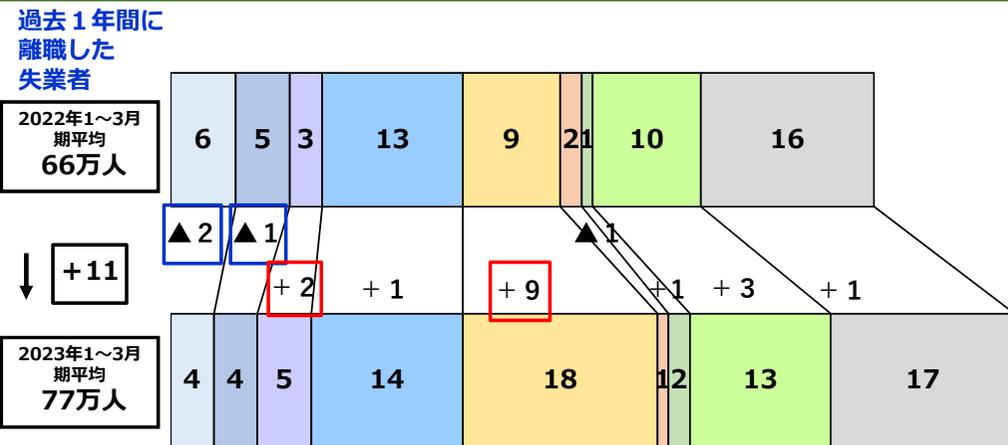
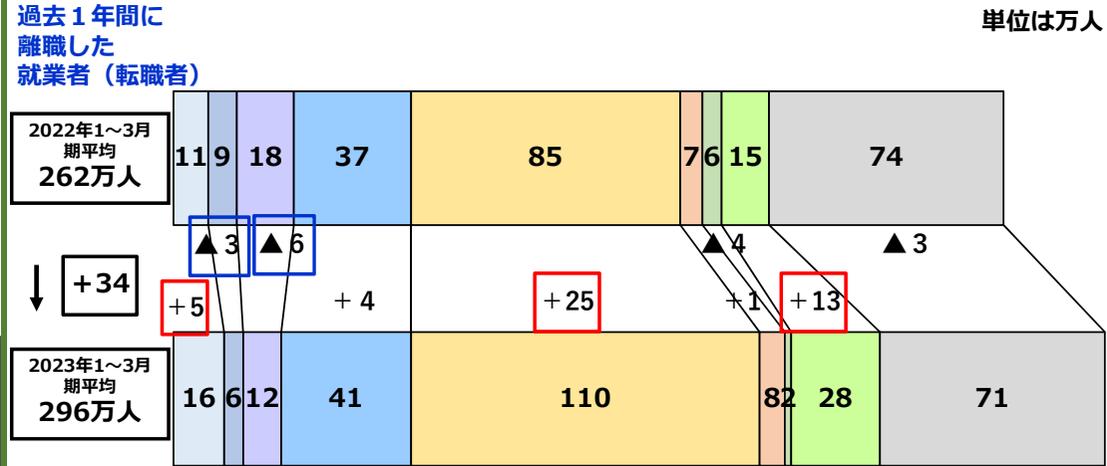
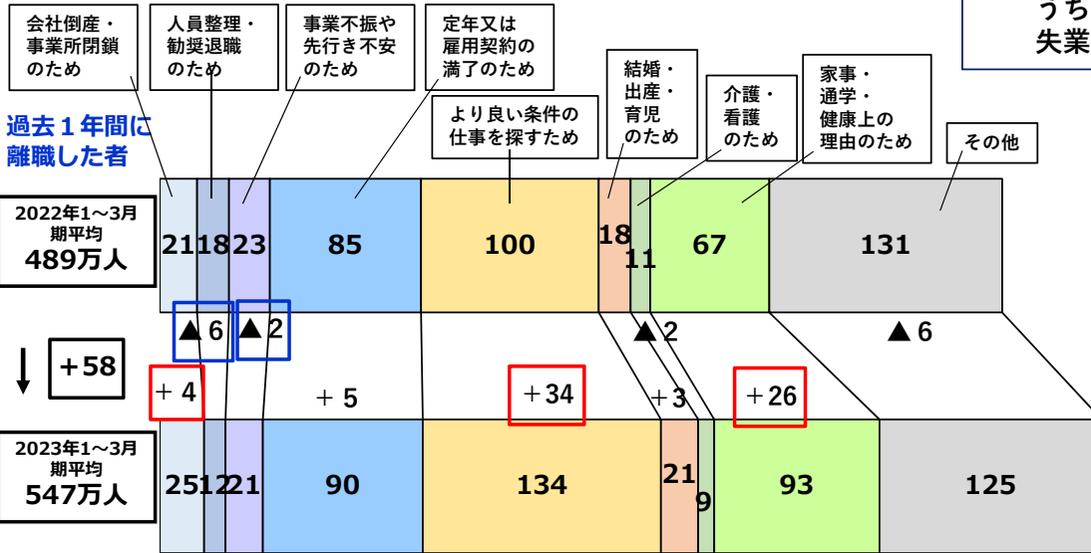


※転職者とは、就業者のうち、前職のある者で、過去1年間に離職を経験した者

3. 詳細集計、四半期平均

過去1年間に離職した者（就業状態別、前職の離職理由別）

○ 過去1年間に離職した者は、1年前に比べ58万人増加
 うち「より良い条件の仕事を探すため」離職したものは34万人増加（現在就業者+25万人、失業者+9万人、非労働力人口±0万人）

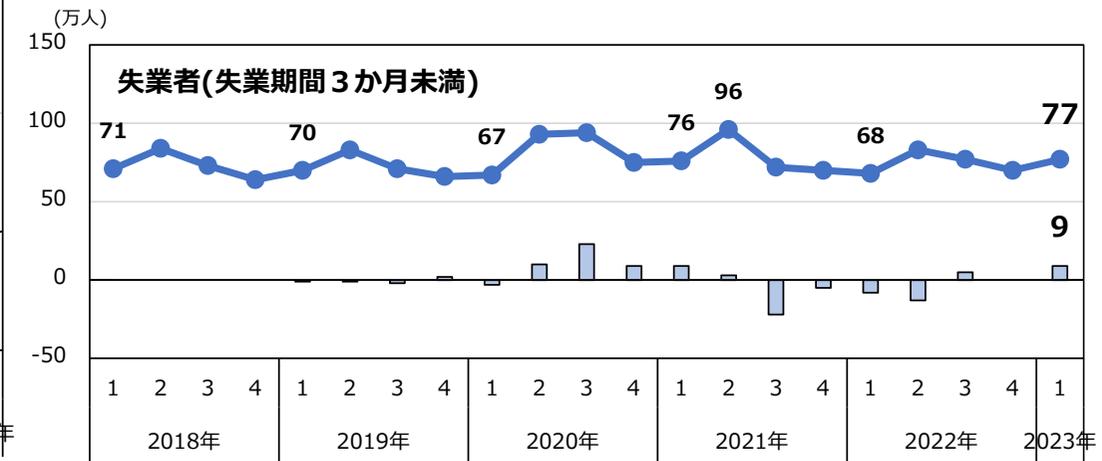
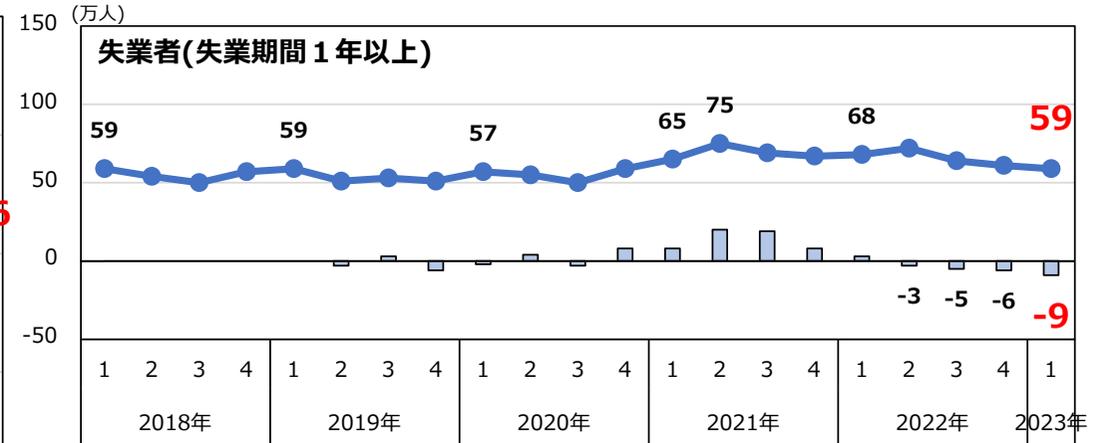
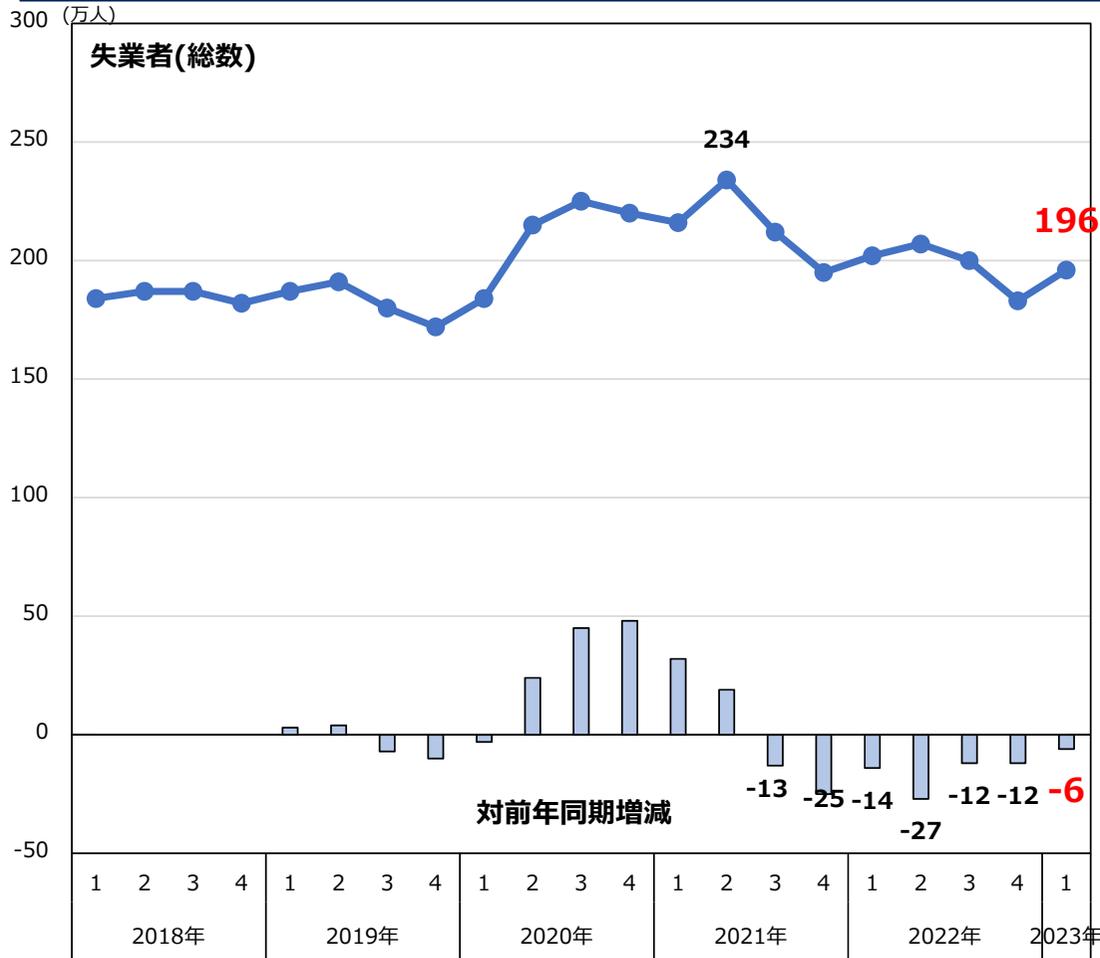


※ここでいう過去1年間に離職した者は、過去1年間に離職したもので、転職者、過去1年間に離職した失業者、過去1年間に離職した非労働力人口を合計した者
 ※転職者とは、就業者のうち、前職のある者で、過去1年間に離職を経験した者
 ※離職した失業者とは、前職のある失業者のうち、前職をやめたことを理由として求職している者

3. 詳細集計、四半期平均

失業者（失業期間別）

○ 失業者は196万人と、1年前に比べ6万人減少（7期連続）
 うち、失業期間が1年以上の長期失業者は59万人と、9万人減少（4期連続）

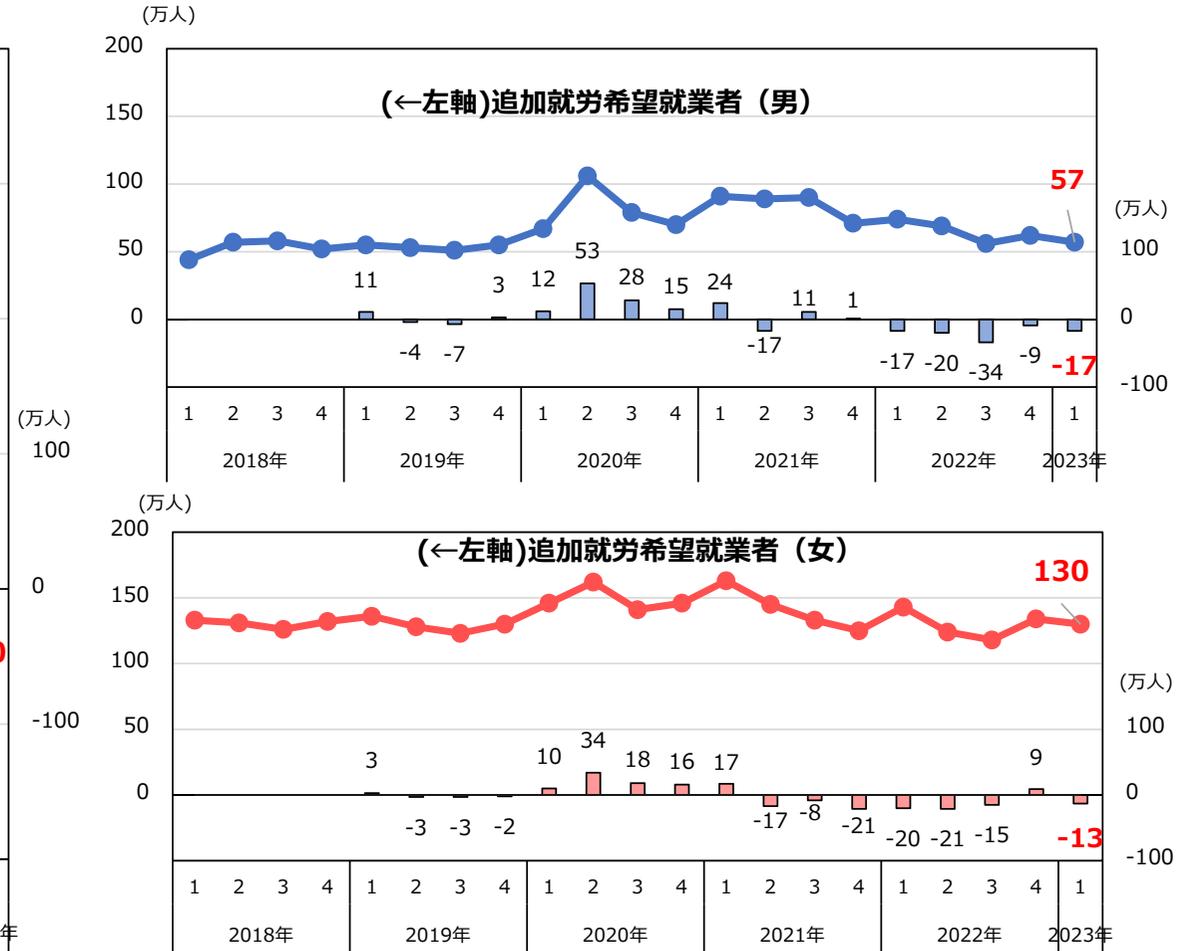
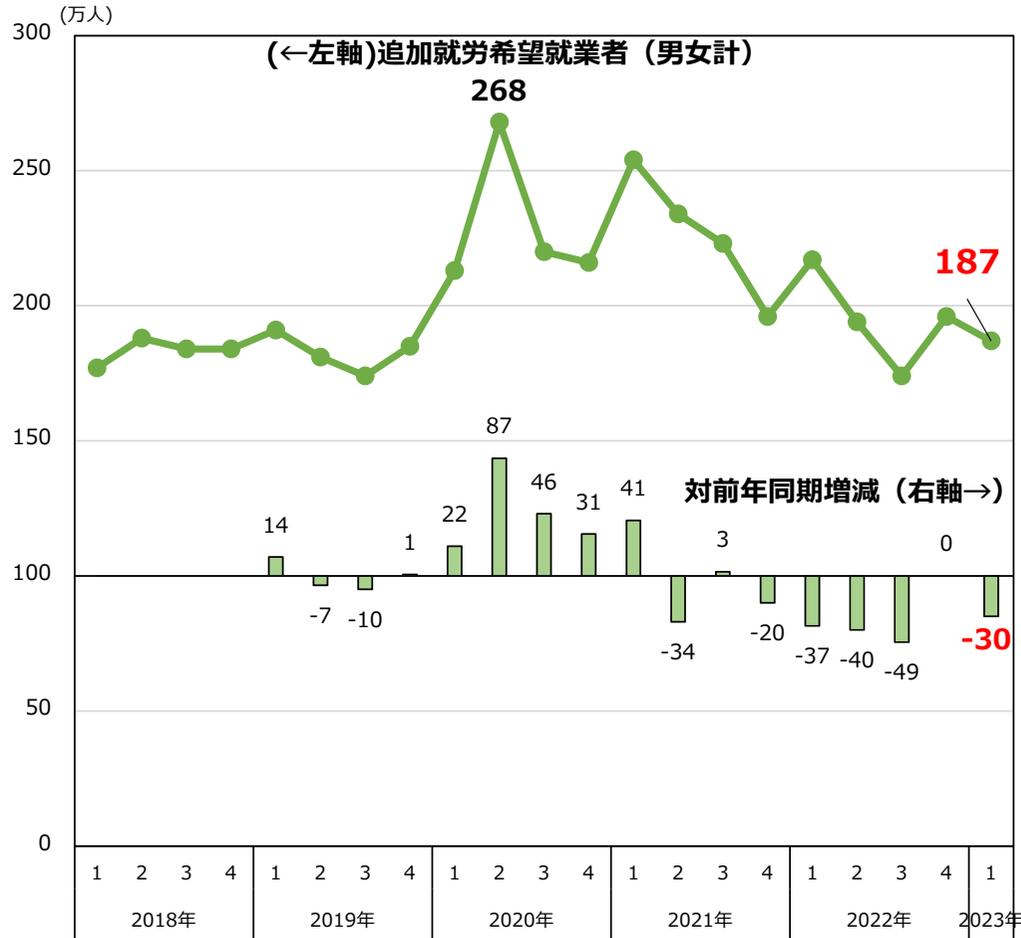


※失業者：就業しておらず、1か月以内に求職活動を行っており、すぐに就業できる者（「完全失業者」とは、「失業者」のうち1週間以内に求職活動を行った者）

3. 詳細集計、四半期平均

追加就労希望就業者

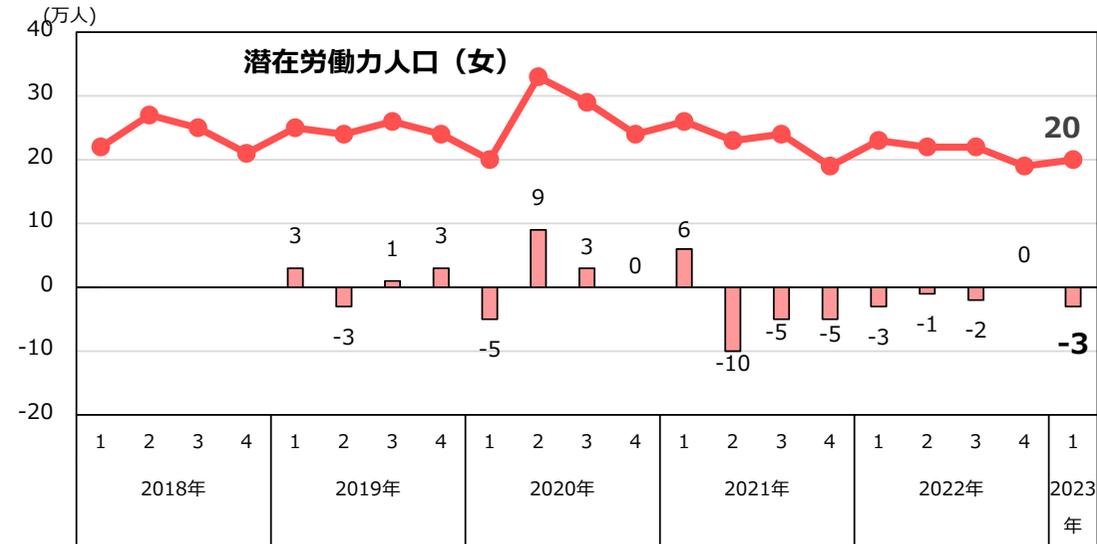
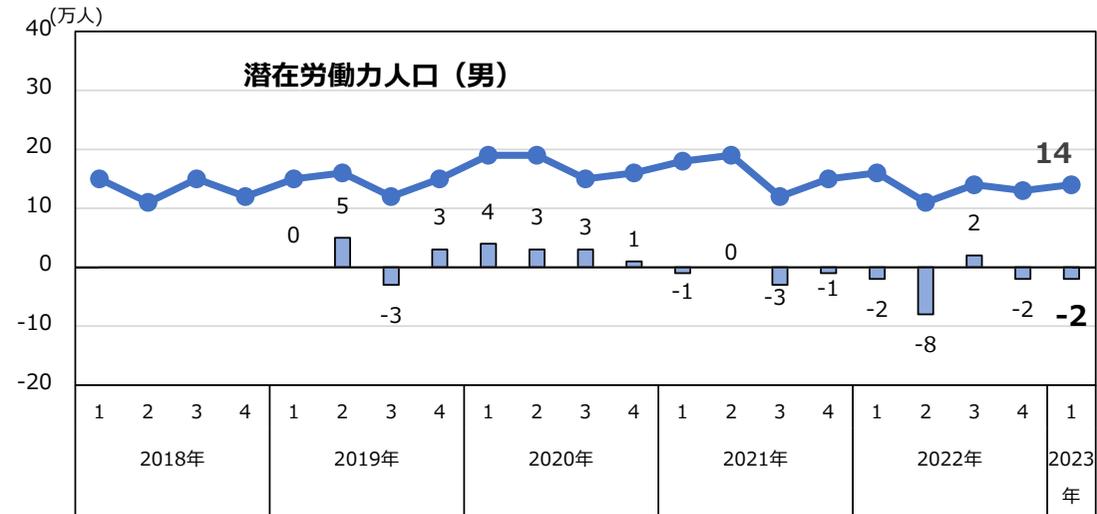
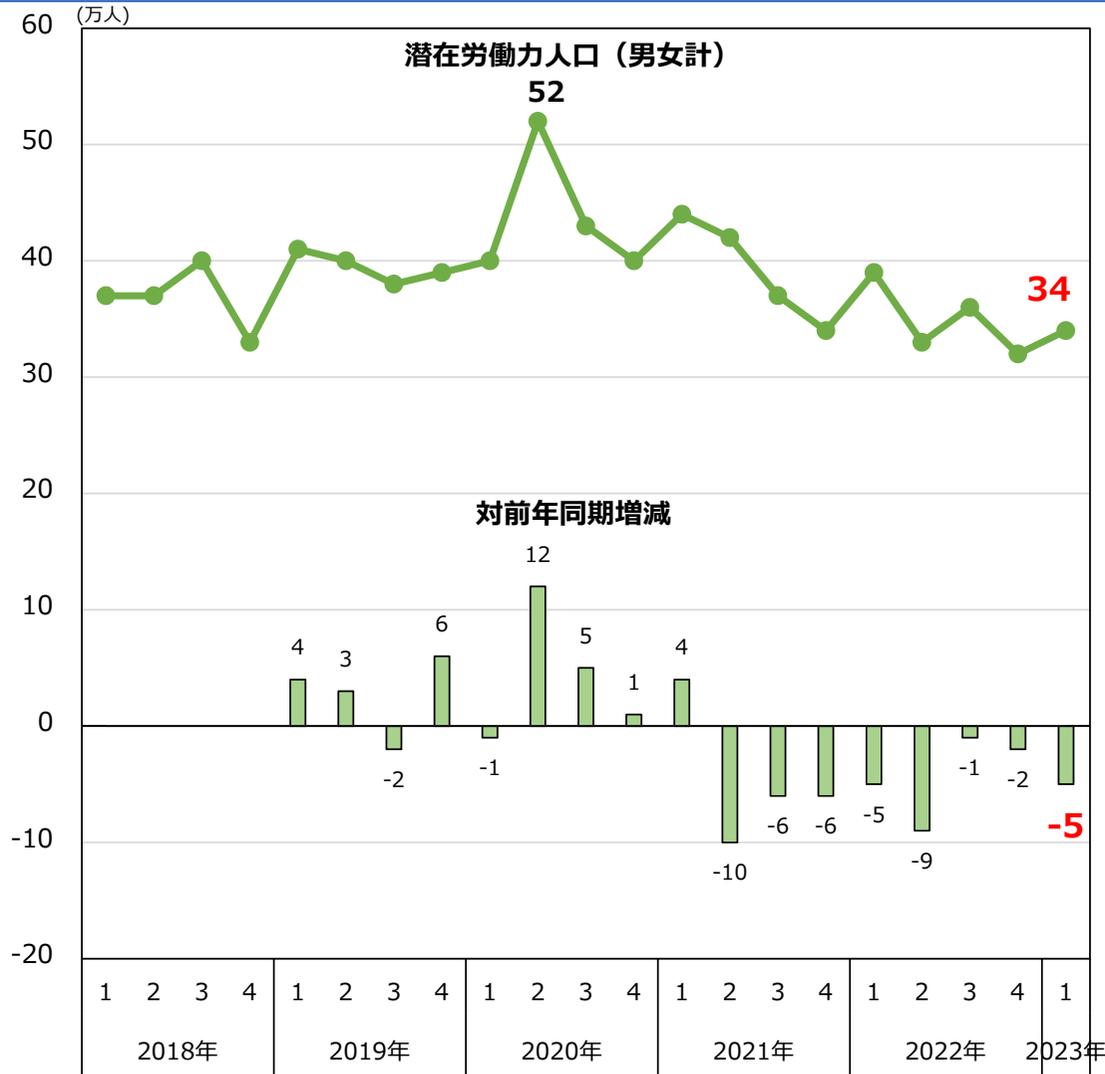
- 就業者6676万人のうち、追加就労希望就業者は187万人と、1年前に比べ30万人減少(2期ぶり)
- 男性は57万人と、17万人減少。女性は130万人と、13万人減少



※追加就労希望就業者：就業時間が週35時間未満で、就業時間の追加を希望しており、追加できる就業者

3. 詳細集計、四半期平均

潜在労働力人口

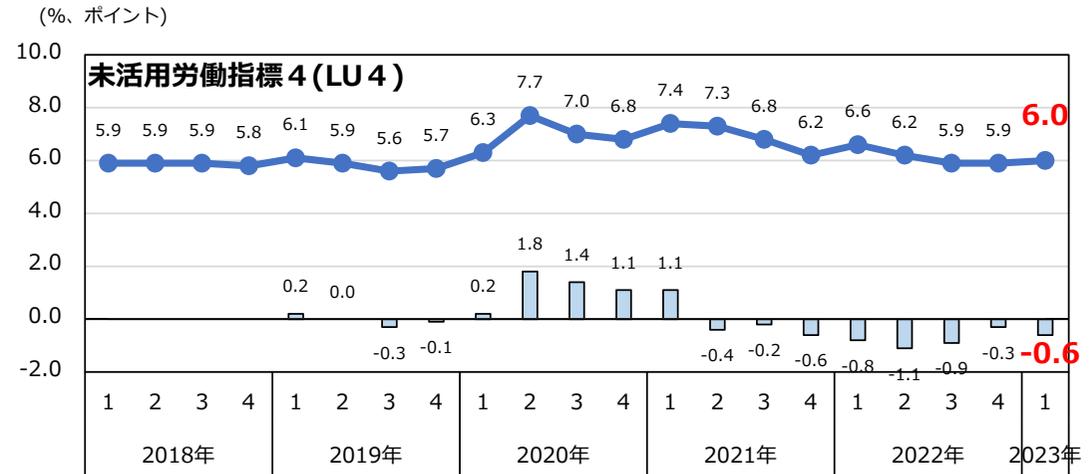
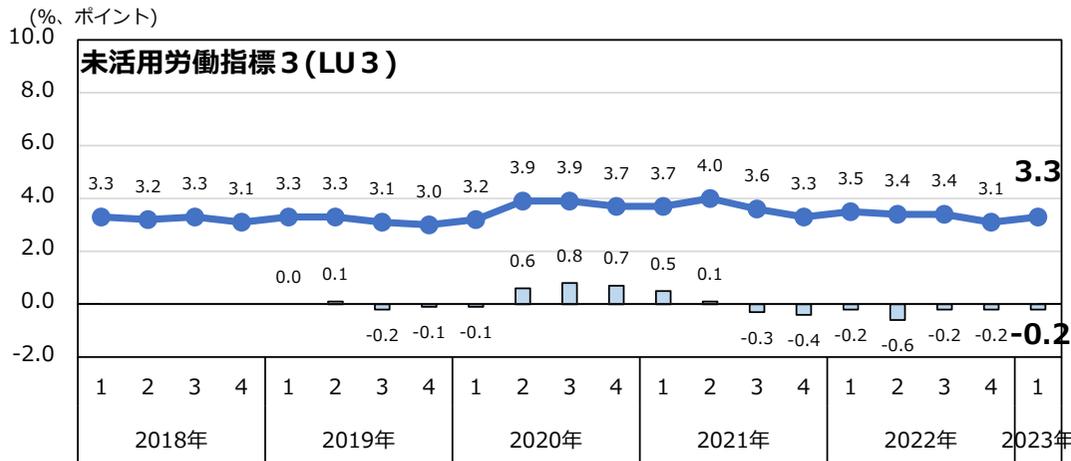
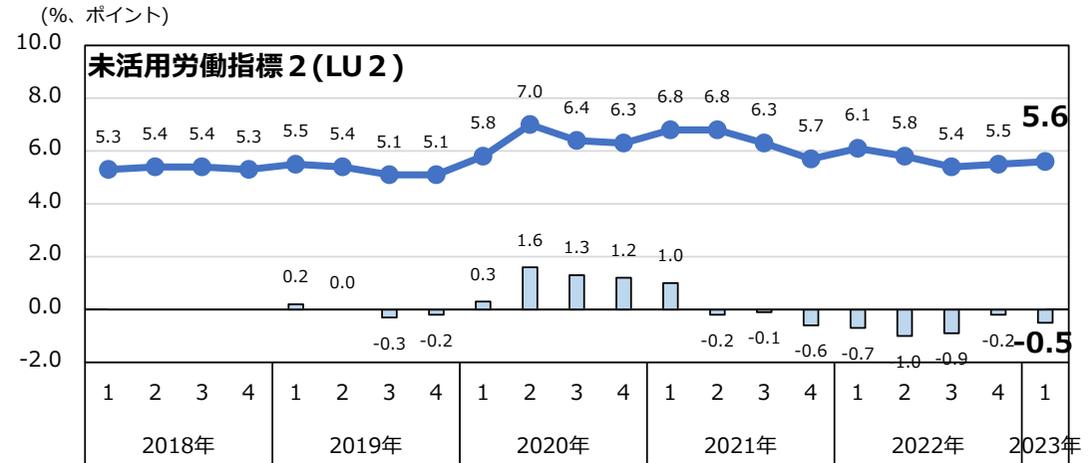
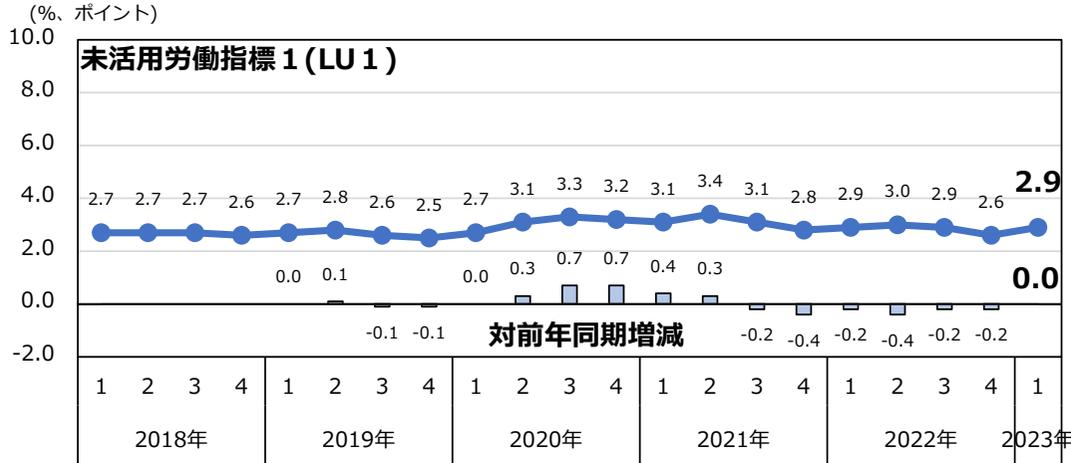


※潜在労働力人口：就業者でも失業者でもない者（非労働力人口）のうち、以下のいずれかの要件を満たす者
 ・1か月以内に求職活動を行っており、すぐではないが2週間以内に就業できる者（拡張求職者）
 ・1か月以内に求職活動を行っていないが、就業を希望しており、すぐに就業できる者（就業可能非求職者）

3. 詳細集計、四半期平均

未活用労働指標

○ 最も包括的に未活用労働を捉えた未活用労働指標4(LU4)は6.0%と、1年前に比べ0.6ポイントの低下



未活用労働指標 1 (LU 1) = 失業者 ÷ 労働力人口 × 100

未活用労働指標 3 (LU 3) = (失業者 + 潜在労働力人口) ÷ (労働力人口 + 潜在労働力人口) × 100

未活用労働指標 2 (LU 2) = (失業者 + 追加就労希望就業者) ÷ 労働力人口 × 100

未活用労働指標 4 (LU 4) = (失業者 + 追加就労希望就業者 + 潜在労働力人口) ÷ (労働力人口 + 潜在労働力人口) × 100